

＼仕事の合間にすぐわかる！／

ICT導入を効率的に
進めるステップ

ICT導入を効率的に進めるステップ

ICT機器の導入や既存システムの更新・刷新では、ステップごとの作業を明確にすることによって効率的に進めることができます。

1. あるべき姿の検討（施策のゴール）
2. 課題の洗い出しと整理
3. 情報収集
4. RFP作成
5. 業者への提案依頼
6. 導入と社員教育

より良い提案を受けするために

DX促進が叫ばれていますが、闇雲に導入をきめたり、業者の言いなりでは使いやすいシステムはできません。

- 外部業者は自社の業務は分からない。
- 本当の課題や優先順位が分かるのは当事者だけ。



そんな時は

提案依頼書（RFP）を書きましょう！

RFPを書くとき、その過程で自社の課題を明らかにしていくことができます。

RFPとは

RFPはRequest for Proposalの略で、業者に提案を依頼するときの基本となる情報です。

RFPを作成すると下記のメリットがあります。

- 自社の課題やICT化の目的を明確にすることができる。
- 責任の所在を明確にすることができる。
- 社内外で同じ情報を共有することができる。
- 複数の業者から提案を受ける場合、同じプラットフォームでの比較ができる。

※RFP作成については「RFPを作成する」をご覧ください。